

## 世界自然遺産化への情報提供 ～奄美群島の野生植物の調査研究～

### 奄美群島の野山の植物を調べる

奄美群島において2007年より野生植物に関する現地踏査、および遺伝的分析を行ってきた。学長裁量経費、科学研究費補助金、民間財団助成金、文部科学省特別経費、奨学寄附金により、当初、野生植物の調査の空白域とも言われていた奄美大島南部や徳之島の山地において、環境省職員、学外研究者、現地の野生動植物保護推進員らと協力して、絶滅に瀕する固有種などの野生植物の分布や遺伝的特性の調査研究、外来植物の影響調査などを行った。各島の野生植物分布リストを鹿児島大学名で公表し、世界自然遺産の推薦書の付属資料作成に生かされた。また、専門書や学術論文の他に「鹿児島環境学」や「奄美群島の生物多様性」など一連の一般向けの書籍を分担執筆した。



### 行政や地域へ科学的情報を提供する

上記の調査研究に基づいて、環境省や国土交通省の審議会、世界自然遺産推薦地の科学委員会、自治体の審議会等で、島嶼の環境保全や土地利用に関して提言をおこなってきた。霧島錦江湾国立公園、奄美群島国立公園、甌島国定公園の設置に係る現地調査や意見交換会にも参加した。また、国や自治体主催の自然環境に係る公開セミナー、シンポジウム、環境系NPO主催の講習会に講師等として参加し、科学的な知識や技術の普及に努めた。

### 人材育成

島嶼での現地調査や遺伝子分析を体験した学生は、林野庁や県庁自然保護課などの公務員、野外活動の指導も実験指導もできる中高理科教員、環境調査会社や臨床検査会社で活躍している。大学院で学んだ留学生は母国の研究所や大学で指導的立場にある。